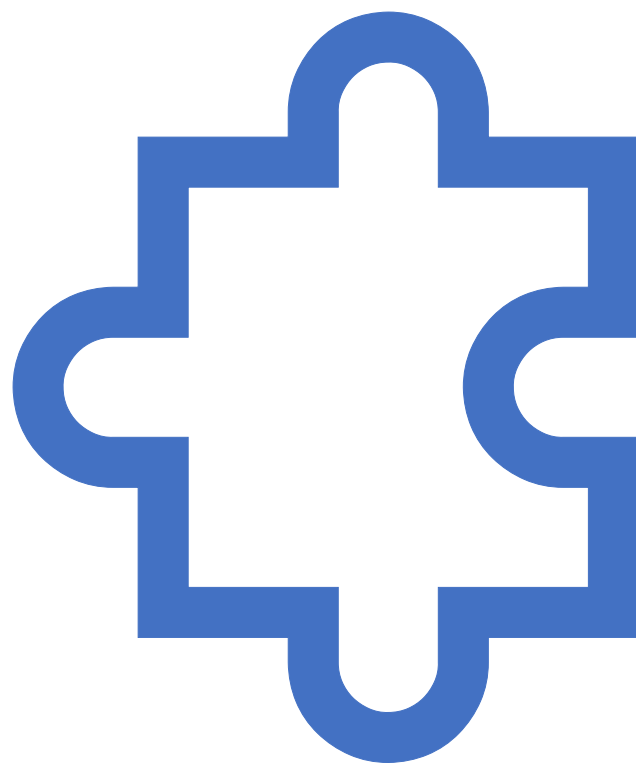


社会福祉法人 五倫会

第3回 地域連携推進会議

日時：令和8年7月25日(土)10:00～12:00





開会の挨拶

本日のタイムスケジュール

司会進行：田口

時間	内容	担当
10:00	開会・挨拶	灘（統括施設長）
10:05	本日の流れ	田口（チャレンジ 管理者）
10:06	会議目的	森本（姫路暁乃里 太陽の郷 副施設長）
10:10	構成員紹介	田口
10:25	チャレンジ 見学	村上（チャレンジ サービス管理責任者）
10:50	姫路暁乃里 見学	大澤（姫路暁乃里 サービス管理責任者）
11:30	法人・事業所紹介	灘・村上・大澤
11:50	質疑応答・意見交換	
12:00	閉会	森本

地域連携推進会議が作られた背景

障害福祉サービスを提供する事業所の増加



支援の質の確保



- ・ 入所施設や共同生活援助（グループホーム）など居住系のサービス類型については外部の目を定期的に入れ、透明性を確保する必要性
- ・ 介護分野の運営推進会議を参考とした仕組みの導入

地域連携推進会議の目的

- (1) 利用者と地域との関係づくり
- (2) 地域の人への施設等や利用者に関する理解の促進
- (3) 施設等やサービスの透明性・質の確保
- (4) 利用者の権利擁護

構成員紹介と一言あいさつ

荒木 昭男様 (大塩地区)

駒井 泰隆様 (的形地区)

鷲尾 泰三様 (大鳥地区)

鷲尾 光明様 (民生・こども委員)

黒川 康彦様 (大塩地区)

名倉 重喜様 (夢前リハビリセンター)

平松 尚記様 (姫路市障害福祉課)

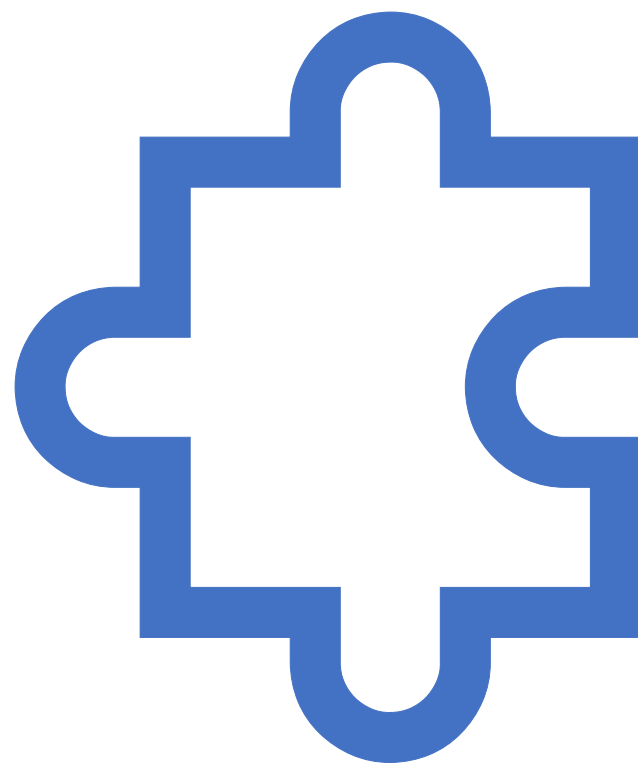
高橋 民代様 (ご家族)

榮永 友紀様 (ご家族)

宗利 和幸様 (GHチャレンジ利用者)

山本 あゆみ様 (姫路暁乃里利用者)





事業所見学

第3回 地域連携推進会議

社会福祉法人五倫会の現状のご報告

開催日	令和8年7月25日（土）
会場	大塩公民館 汐の里
担当	灘

目次

- 01 法人概要と理念
- 02 社会動向と法人の位置づけ
- 03 人材確保と育成
- 04 経営状況の報告（法人全体・事業別）
- 05 拠点整備計画と地域支援の今後
- 06 法人全体の重点方針（令和7年度）
- 07 総括・今後の展望

01.法人概要と理念

法人の基本情報

名称	社会福祉法人 五倫会
設立	平成11年（1999年）12月
所在地	兵庫県姫路市の形町の形3564番地
職員数	99名（常勤48名／非常勤51名）
事業所数	6事業所（利用者数：約500名）

01. 法人概要と理念



私たちは人間を愛し、
一人ひとりがありのままに、
自らの意思で自立した生活を送ることができる
共生社会の実現を目指します。



2000年～



知的障害者通所授産施設
「太陽の郷」開所

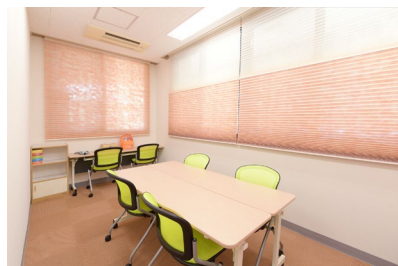


知的障害者入所支援施設
「姫路暁乃里」開所

2005年～



共同生活援助事業所
「チャレンジ」開所



相談支援事業所「ふらっ
と」開所

2017年～



就労継続支援B型作業所
「お惣菜の店ごりんや」
オープン

2023年～



姫路地域相談窓口「東部ひ
めりんく」受託スタート

2023年～



放課後等デイサービス「オ
リオン」2事業所を統合

現在：6事業所・利用者数約500名体制へ発展

02. 社会動向と法人の位置づけ

障害福祉サービス制度施行から19年

利用者数

1,152.8万人

国の予算

2.3兆円

(施行当初の約4.5倍)

課題：少子高齢化・人材不足・支援ニーズの多様化



16期連続増収ならず
前年比-1.6%



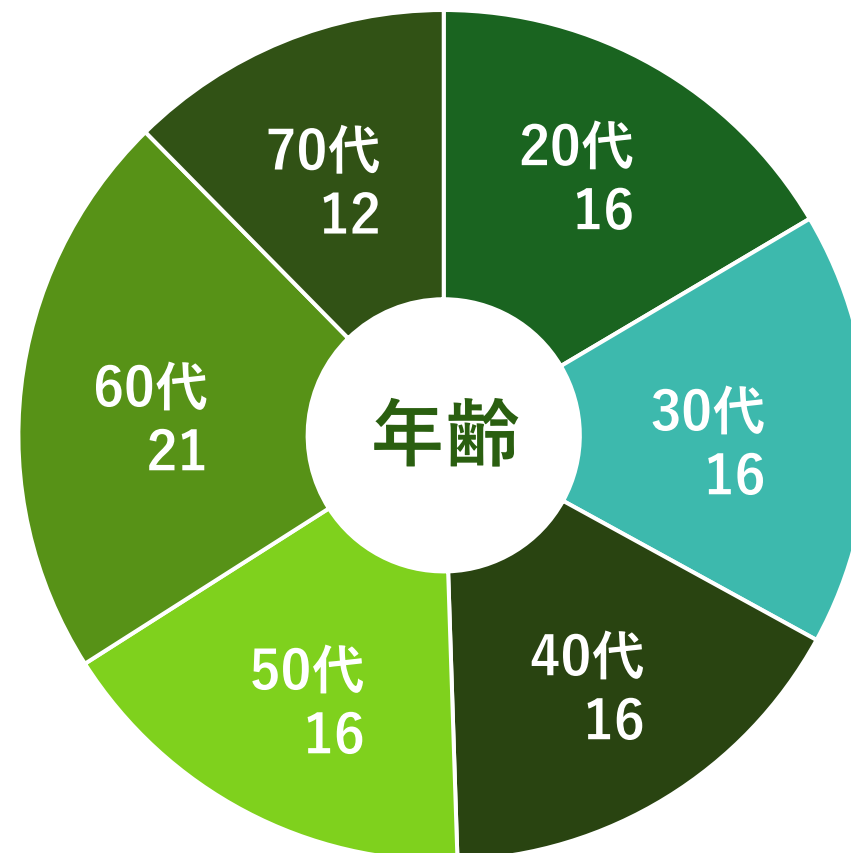
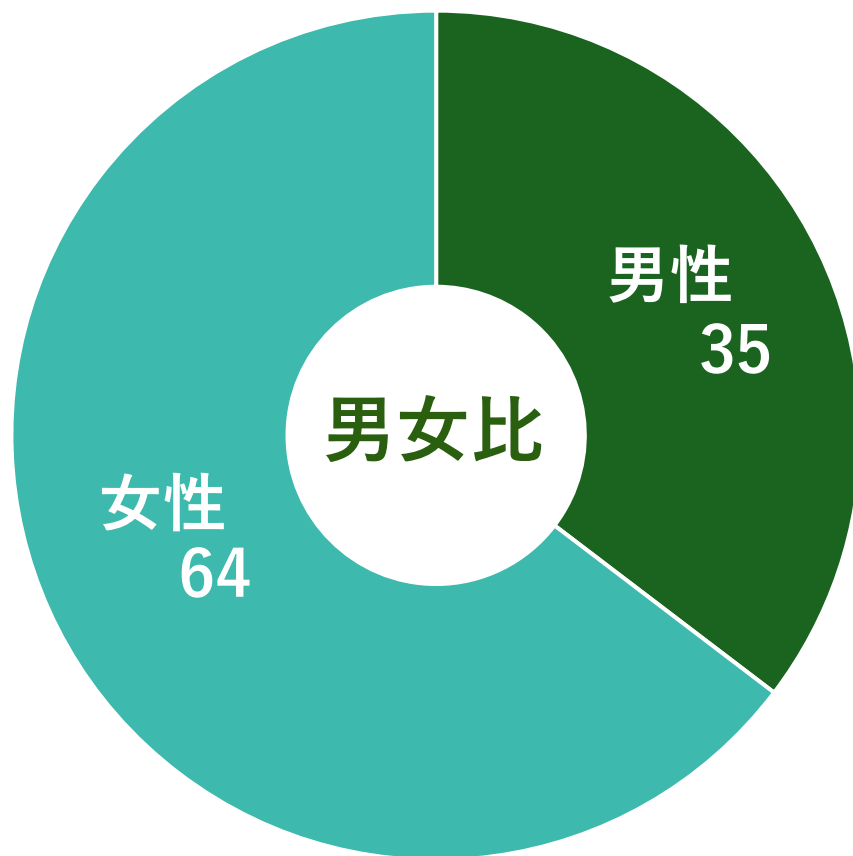
財務基盤・経営体質
ともに安定

「地域連携」「透明性」「人材育成」を経営の柱に据える

03. 人材確保と育成

採用・職員構成

令和7年度採用：17名（新卒2／中途3／非常勤12）



世代バランスの取れた職員構成で支援継続力を強化



毎月の施設内研修を継続

(虐待防止・感染症対策・BCP対応 等)



階層別・専門別研修で段階的スキルアップ



医療連携・行動障害支援・記録効率化の

実務研修を拡充

強度行動障害スーパーバイザー養成事業

自傷行為や他害行為など著しい行動障害のある利用者に対し、より質の高い支援を提供できるよう、指導的立場を担うスーパーバイザー（SV）を養成するための事業

実施期間

令和4～6年度

（兵庫県委託事業）

認定実績

2名が県知事より認定



令和7年度より「広域的支援人材」として登録

資格者構成

03. 人材確保と育成

社会福祉士	5	社会福祉主事	8
理学療法士	2	教員免許	3
看護師	4	サービス管理責任者	16
栄養士	1	相談支援専門員	7
歯科衛生士	1	強度行動障害支援者研修修了者	16
介護福祉士	16	行動援護支援者研修修了者	20
保育士	12	広域的支援人材（県知事認定）	2



「チームで支える支援」 「人を育てる現場」

04. 経営状況の報告 （法人全体・事業別）

項目	R5年度	R6年度	R7年度	備考
サービス活動収益	474,084千円	510,881千円	502,300千円	約850万円（1.6%） 微減
サービス活動費用	465,158千円	476,061千円	475,122千円	約939万円（0.2%） 微減
経常増減差額	7,645千円	34,763千円	27,706千円	安定した黒字水準
純資産	609,033千円	638,451千円	648,754千円	経営基盤強化

分析：・「安定」から一歩進んで「持続的に強化されている」状態
・中長期的な事業展開に向けて、十分な財務余力を確保

姫路暁乃里

年度	収益	費用	経常差額	備考
R5	266,802千円	267,849千円	▲646千円	採用前倒しで一時赤字
R6	299,358千円	285,811千円	14,240千円	加算寄与で黒字回復
R7	307,520千円	281,823千円	25,697千円	黒字幅さらに拡大

人材確保期を経て黒字回復

チャレンジ

年度	収益	費用	経常差額	備考
R5	39,182千円	36,909千円	2,272千円	継続黒字
R6	42,168千円	38,525千円	3,494千円	黒字基調を維持
R7	42,880千円	36,695千円	6,100千円	安定運営

安定経営を継続

総括：基幹2拠点として、財務安定性を支える存在

05. 拠点整備計画と地域支援の今後



新棟「姫路暁乃里」整備

(令和9年1月竣工予定)

- 短期入所の増床
- 地域防災・福祉避難所機能を併設
- 地域生活支援機能（緊急短期）の強化
- 個別支援によるQOLの向上

新規

- ・ 高砂市北浜町
- ・ 大塩町宮前にてグループホーム整備（予定）



継続

- ・ 地域相談窓口「東部ひめりんく」の機能強化
- ・ 放課後等デイサービス「オリオン」運営継続・新展開（予定）
- ・ 「ひめラボ」実践報告会の継続開催

06. 法人の重点方針（令和8年度）

令和8年度の社会福祉法人五倫会の重点方針は以下の通りです



経常増減差額比率
3%以上の維持



職員育成と
離職防止の徹底



ICT導入による
業務効率化と
支援の質向上

07. 総括

メッセージ

- ・ 地域とともに歩む持続可能な福祉運営
- ・ “人を愛し、人を支える”理念を原点に
 - ・ 社会の変化に挑戦し続ける法人へ

THANK YOU

『共に考え、共に実践し、共に達成する』

～利用者・スタッフ・地域と共に～

利用者一人ひとりが思い描く“夢・理想・未来”の実現に向けて、利用者とスタッフの信頼関係のもと、利用者に関わる全ての関係機関、全ての人々を巻き込みながら地域社会が一体となって“共に考え、共に実践し、共に達成する”支援体制の実現を目指します。

日課		
平日	時間	休日
起床 整容	6:30	起床 整容
朝食準備	7:45	朝食準備
朝食 歯磨き	8:00～9:15	朝食 歯磨き
掃除・洗濯		掃除・洗濯
作業・活動 〈火曜日〉 シーツ交換、居室整理 〈水曜日〉	10:00～11:30	余暇 （外出・買い物・ レクリエーション など）
〈金曜日〉 音泉療法10:30(第1・3) 太鼓教室10:00(第2)		〈土曜日〉 太鼓教室10:00(第4)
昼食 休憩	12:00～13:00	昼食 休憩
バイタル測定 〈水曜日〉 真砂園さんパン購入 〈火曜日〉 体操教室14:00(第2・3) 男性:余暇 女性:入浴	13:15～14:30	バイタル測定 男性:余暇 女性:入浴
ティータイム	14:30～15:00	ティータイム
男性:入浴 女性:余暇	15:00～16:30	男性:入浴 女性:余暇
夕食 歯磨き	17:30～21:00	夕食 歯磨き
投薬、就寝準備、自由時間		投薬、就寝準備、自由時間
就寝・消灯	22:00	就寝・消灯



姫路暁乃里

サービス種別

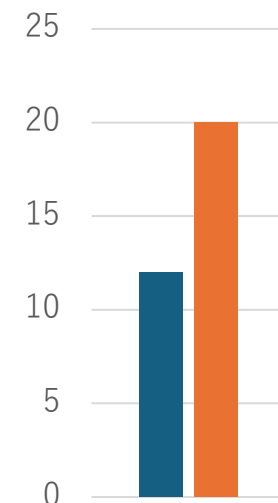
施設入所支援	定員 30名
生活介護	定員 40名
短期入所（ショートステイ）	定員 4名
日中短期入所	定員 4名



サービス	開所日	サービス提供時間
施設入所支援	365日	16:00～9:00
生活介護	月～8日	9:00～16:00
短期入所	365日	要相談
日中短期入所	※現在、法人内の通所（生活介護）の方のみ受け入れ	

職員数

施設長	事務員	サービス管理責任者	主任	副主任	支援員	理学療法士	作業療法士	看護師	その他
1	5	1	1	1	28	1	1	4	1



■ 男性職員 ■ 女性職員



一日の生活スケジュール

時間	平日スケジュール	日・祝スケジュール
6:30	起床・整容	
7:45	朝食準備	
8:00 ~ 9:00	朝食・歯磨き／掃除	
9:10 ~	朝礼・活動選択	
10:00 ~ 11:00	曜日ごとの活動 (例) 火:シーツ交換 水:ピアノ講師による演奏会 木:缶回収 金:女性限定でネイル	余暇活動 カラオケ、ドライブ、レクリエーションなど
12:00 ~ 13:00	昼食・休憩	
13:00 ~ 13:30	バイタル測定	
13:30 ~ 15:00	男性：ティータイム (少人数でゆったり楽しむ) 女性：入浴	男性：ティータイム (少人数でゆったり楽しむ) 女性：更衣のみ (※日曜日は更衣のみ)
15:00 ~ 16:30	男性：入浴 女性：ティータイム (少人数でゆったり楽しむ)	男性：入浴 女性：ティータイム (少人数でゆったり楽しむ)
17:30 ~ 21:00	夕食・歯磨き／投薬・就寝準備・自由時間	

ご利用されている方



あたたかい日常の関わり



自分らしく暮らす



行事を大切に

- ✓ さまざまな年齢・障害特性の方が生活されています
- ✓ 一人ひとりのペースやニーズに合わせ、丁寧な支援を行っています

日中の過ごし方



作業活動や生活訓練



体操やレクリエーション



ゆっくり過ごす時間

- ✓ 日常生活を支える支援を行い、誰もが安心して過ごせる環境づくりを大切にしています
- ✓ 好きなこと、得意なことを自分で選び、参加できる充実した日中プログラムを提供します

生活の場の紹介



個別化されたエリア



食堂や共有スペース



安心して過ごせる環境づくり

- ✓ 個別化されたエリアを作り、一人ひとりが心穏やかに過ごせるエリア作りを行っています
- ✓ 明るく開放的な食堂や共有スペースは、憩いの場として自然な交流をサポートします
- ✓ 手すりやバリアフリーに配慮し、誰もが安心・安全、そして快適な環境を整えています

食事・健康管理



栄養バランスのとれた食事



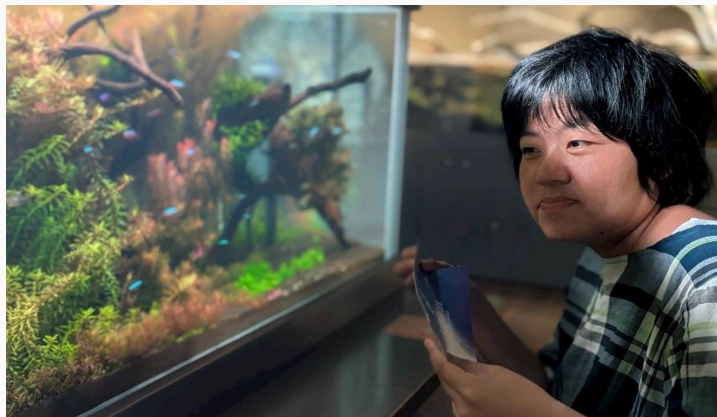
季節や文化を感じる食事

- ✓ 一人ひとりの体調や状態に合わせ、栄養バランスのとれた安全な食事を提供します
- ✓ 栄養士や看護職員が毎日しっかり連携し、きめ細かな健康管理とサポートを行います
- ✓ 年中行事や季節感にあふれた特別な献立メニューで、日々の「食の楽しみ」を大切にします

地域とのつながり



外出や買い物の支援



外出先で新しい発見



地域行事への参加

- ✓ お買い物や行楽などのお出かけを積極的にサポートし、社会や地域との接点を大切にします
- ✓ 地域の各種お祭りや行事に参加させていただき、住民の皆様と顔の見える関係を築きます

社会福祉法人五倫会

太陽の郷



◆太陽の郷とは

- ・ 就労継続支援B型
- ・ 生活介護

太陽の郷 ほんなところ？



生活を支える場所

安心して過ごせる場所の提供



働く練習をする場所

個々のペースで働く練習をする



日中の活動を行う場所

作業や余暇活動の提供



利用状況

38歳

平均年齢

40人前後

利用者数

● 就労継続支援B型

障害があることで、すぐに一般企業で働くことが難しい方が、自分の体調やペースに合わせて「働く練習」ができる福祉サービス

▶ 作業内容

- ▶ 施設内（DM作業・缶作業・畑作業）
- ▶ 施設外（除草、清掃、販売）
- ▶ ごりんや（店舗）

▶ 平均工賃：約32000円（令和7年度）

- ▶ 「楽しむ時間が欲しい」と意見があり
令和7年度より「外出」などの楽しむ時間を計画、実施



●生活介護

重度の障害がある方が日中を安心して過ごすための支援を行う福祉サービス



クラブ活動



視覚支援



①	おはしぎょう
②	けんおん
③	おわりのかい
④	あかつきのこと
⑤	おふろ
⑥	ごはん
⑦	ねる
⑧	おきる
⑨	ごはん
⑩	たいようのこと
⑪	けんおん
⑫	ちょうれい
⑬	おはしぎょう
⑭	ごはん
⑮	きゅうけい
⑯	のうひん
⑰	セブンイレブン
⑱	かえる



外出・お楽しみ会



日中活動



● 仮屋のまちづくり



共同生活援助 チャレンジ



グループホーム(共同生活援助)とは？

障害のある人が、少人数で家庭的な雰囲気の中で生活しながら、
自立した暮らしを目指す場所です。

グループホームってどんなところ？



4～6人くらいの人が
一緒に生活します



食事づくりや掃除、洗濯など
日常生活をみんなで行います



それぞれのペースを大切に、
安心して暮らせる場所です



どんな人が利用できるの？

- ・障害のある人で、
一人暮らしに不安がある人
- ・自立した生活を目指して
練習したい人
- ・日中は、仕事や通所などに
通っている人 など



グループホームでの1日の流れ(例)



世話人・生活支援員のサポート



・食事づくりや掃除などのサポート



・困ったことや悩みごとの相談



・体調や金銭管理の見守り など
「できることは自分で」を大切にしながら、
必要なところをサポートします。

グループホームを利用するメリット



安心できる環境で生活できる
いつでも相談できる人がいて安心！



自立した生活の練習ができる
生活のスキルが身につく、自信につながる！



人とのつながりが広がる
一緒に生活する中で、友だちや
支え合える関係ができる！

グループホームのイメージ(例)



- ・一軒家やアパート・マンションなど、地域の中で
普通の暮らしができます。
- ・家賃や光熱費、食費などは自己負担です
(自治体の助成を受けられる場合もあります)。



一人ひとりの「やってみたい!」「こう暮らしたい!」を大切に、
その人らしい生活を応援します。



グループホーム（共同生活援助）の4つの形態

住まいや支援の仕組みは、利用する人の状態や希望に合わせて4つのタイプがあります。

① 介護サービス包括型

特徴 最も一般的な形です。

支援 グループホームのスタッフ（世話人や生活支援員）が、食事や入浴などの介護と生活サポートをまとめて行います。

食事の準備・提供 入浴の介助 生活のサポート



対象 軽度から重度まで幅広い人が利用しています。



② 外部サービス利用型

特徴 身の回りのサポートはホームのスタッフが行います。

支援 入浴や排泄などの専門的な介護が必要な場合、外部の介護サービス事業者（ホームヘルパーなど）を呼びます。



専門的な介護が必要なとき

外部サービス（ホームヘルパーなど）



対象 日常生活はほぼ自分でできるが、部分的な介助が必要な人に向いています。



③ 日中サービス支援型

特徴 24時間体制でしっかり見守りを行います。

支援 夜間だけでなく、日中もホームの中で活動や介護のサポートを受けることができます。

24時間の見守り・支援



対象

重度の障がいがある人や、高齢などで日中デイサービス等に通うのが難しい人に向いています。



④ サテライト型住居

特徴 一人暮らしに近いアパートやマンションで暮らす形態です。

支援 食事や困りごとの相談などは、近くにある本体のグループホーム（拠点）を利用します。

サテライト住居
(アパート・マンションなど)

本体のグループホーム(拠点)



対象 一人暮らしの練習をしたい人や、集団生活が少し苦手な人に向いています。



自分のペースで暮らしたいな...



まとめ

それぞれの形態に特徴があり、本人の状態や希望に合わせて選ぶことが大切です。



【チャレンジ】はこんなところです

建物名	エルドラド	ふぁむ的形
入居者数	男性2名	男性2名・女性5名
形態	介護サービス包括型	介護サービス包括型

このようなサポートを実施しています→次のページへ

主にこのようなサポートを実施しています

受診

- ・ 看護師の付き添いあり
- ・ 自立を目指し、単独受診が出来るように支援
- ・ その他

余暇支援

- ・ 移動支援を利用するための調整
- ・ 単独外出実現に向けたサポート
- ・ その他



日常生活援助

- ・入浴や排泄の介助
- ・掃除や洗濯のサポート
- ・服薬管理
- ・その他

食事

- ・世話人が調理し手作りの食事を提供
- ・季節や行事に応じた食事メニュー
- ・その他

金銭管理

- ・収支の確認、助言
- ・小遣い帳記入のサポート
- ・その他



障害者が地域で生活をする上での課題

障害のある人が、住み慣れた地域で安心して自分らしく暮らしていくためには、さまざまな壁や困りごとがあります。

地域での生活のイメージ



1 理解や配慮が不足している



- ・障害への理解が十分でなく、偏見や誤解がある
- ・必要な配慮をしてもらえないことがある

2 移動や外出のしにくさ



- ・公共交通機関の利用が難しい
- ・歩道の段差や駅の設備など、バリアが多い

3 情報が手に入りにくい・伝わりにくい



- ・必要な情報が分かりにくい
- ・視覚や聴覚、読み書き等の特性に合った情報が少ない

4 働くことの難しさ



- ・仕事の選択肢が少ない
- ・理解のある職場が少ない
- ・障害に応じたサポートが不足している

5 経済的な不安がある



- ・収入が少なく、生活が不安定になりやすい
- ・将来の生活や老後への不安が大きい

6 住まいの選択肢が少ない



- ・入居を断られることがある
- ・一人暮らしやグループホームの数が少ない

7 必要な支援が受けにくい



- ・相談できる窓口や支援が少ない
- ・サービスの利用手続きが難しい

8 人間関係や孤立の問題



- ・地域とのつながりが持ちにくい
- ・孤立してしまうことがある

9 災害や緊急時の不安



- ・避難情報が分かりにくい
- ・避難のサポートや配慮が不足している

10 将来のことへの不安



- ・親がいなくなった後の生活が不安
- ・年齢を重ねたときの生活や支援が心配

課題を解決するために大切なこと

理解と配慮のある地域づくり



バリアフリー・情報のバリアフリー



必要な支援やサービスの充実



働く場や活動の選択肢を増やす



相談できる人やつながりがあること



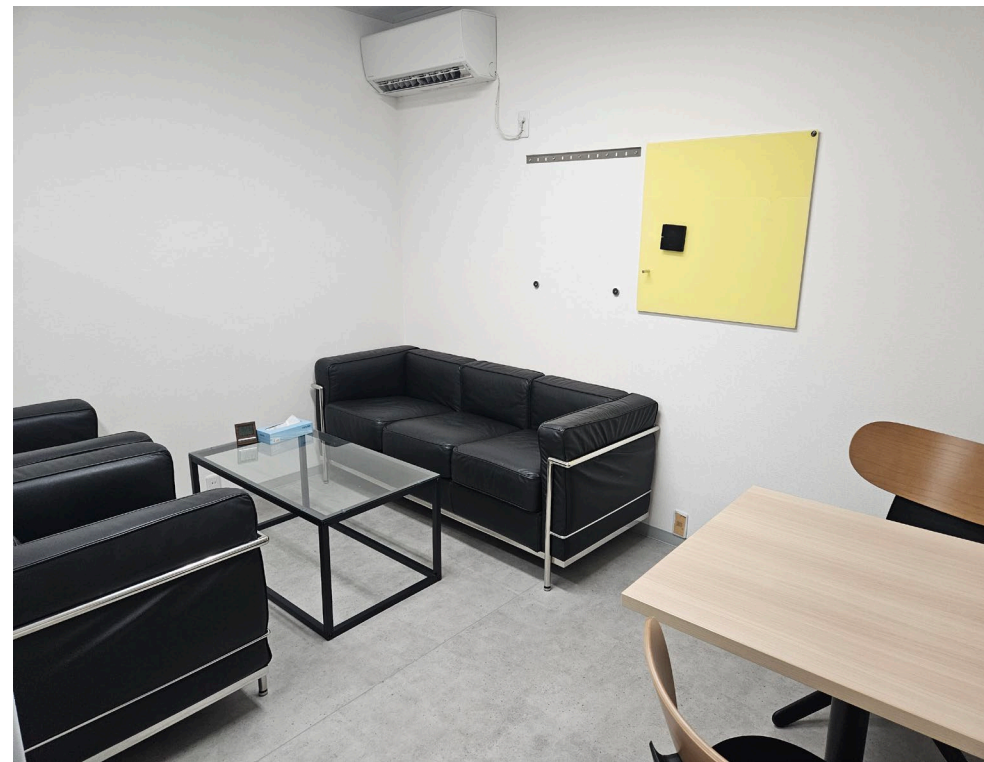
私たち一人ひとりにできること

- ・あいさつや声かけなど、身近な関わりを大切にする
- ・困っている人がいたら、思いやりを持って手助けする
- ・障害について学び、正しく理解する
- ・誰もが暮らしやすい地域づくりに参加する

みんなが支え合う地域が、
誰にとっても暮らしやすい地域になります。



相談支援事業所 ふらっと 地域相談窓口 東部ひめりんく



利用対象	障害のある方やそのご家族、 関係者の方々からのご相談をお受けしています。 ※障害者手帳の有無や年齢等は問いません。
利用方法	まずはお電話等でご連絡下さい。 電話番号：079-240-8905 FAX番号：079-240-8906 住所：姫路市的形町の形1762－21
利用料金	相談については無料です。
サービス提供時間	月曜～金曜 9:00-16:00 (国民の祝日と12月29日～1月3日を除く)

現在3名の相談支援専門員がいます。
お気軽にお立ち寄りください



放課後等デイサービスとは？

子どものための「安心の居場所」と「成長の広場」



放課後等デイサービス オリオン

妹尾 拓真

対象となる子どもたち

6～18歳

就学している児童

「障害者手帳」がなくても利用可能

主な対象は、小学校・中学校・高校に通う児童・生徒です。

ここがポイント！

医師の診断書や専門機関の意見書などがあり、市区町村から「支援が必要」と判断されれば、いわゆる「障害者手帳」をお持ちでないお子さまでも利用することができます。発達障害やそのグレーゾーンのお子さまも多く通っています。

放デイが果たす3つの役割



子どもの最善の利益

学校や家庭とは違った心地よい環境の中で、お友達との関わりや多様な学びを体験し、子どもたち一人ひとりの個性を伸ばしながら自己肯定感を高めます。



社会への参加支援

地域交流イベントや外出レクリエーションなどを通して、社会とのつながりや集団生活でのマナーを少しずつ自然に身につけていきます。



ご家族のサポート

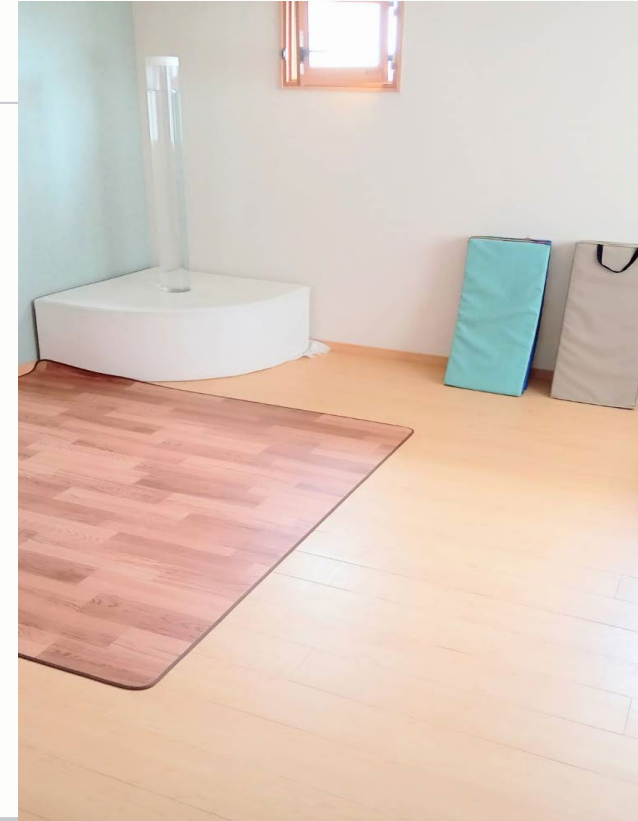
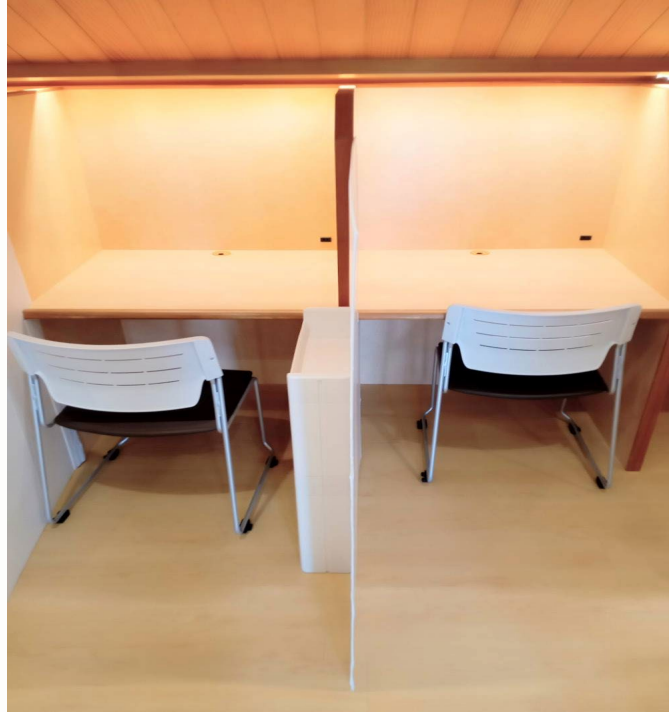
子育ての悩みをスタッフに相談できるほか、放デイにお子さまを預けている間に、ご家族がホッとひと息ついたり働く時間を確保したりする支援（レスパイト）も行います。

どんな場所なの？

障害のあるお子さまのための「学童保育」

放課後等デイサービス（通称：放デイ）は、障がいや発達に特性のある就学中のお子さまが、放課後や夏休みなどの長期休暇に通うための福祉サービスです。

ただ「時間を過ごす（預かる）」だけの場所ではなく、一人ひとりの課題に合わせた個別の学習・運動プログラム（療育）を通じて、自立する力を身につけることを目指しています。



平日の一日の過ごし方（例）

①

15:00 ～ 来所

学校までのお迎え。事業所に到着したら検温・手洗いうがいを済ませて、ラジオ体操！

②

15:30 ～ 自主・個別活動

一人ひとりの発達レベルに合わせた学習や訓練のプログラムにチャレンジします。

③

15:45 ～ 集団プログラム

お友達みんなで行うゲームや、体を使った運動、近くの公園への散歩などを通して、集団行動のルールを楽しく学びます。

④

17:00 ～ 安全に帰宅

車で自宅まで安全に送迎。その日の活動の様子を、支援員からご家族へ報告します。

どんなスタッフが働いているの？



児童発達支援管理責任者

「児発管（じはつかん）」と呼ばれ、お子さまの特性や保護者さまの要望を丁寧に聞き、成長に不可欠な「個別支援計画」の作成・見直しを行います。



保育士・児童指導員

個別計画に基づき、日々の指導や遊びを直接サポート。保育士、社会福祉士、教員免許などの専門知識・資格を持ったメンバーが中心となって働いています。



その他の専門職

事業所によっては、理学療法士(PT)、作業療法士(OT)、言語聴覚士(ST)などのスペシャリストが在籍し、運動や言葉に特化したより高度な訓練も行っています。

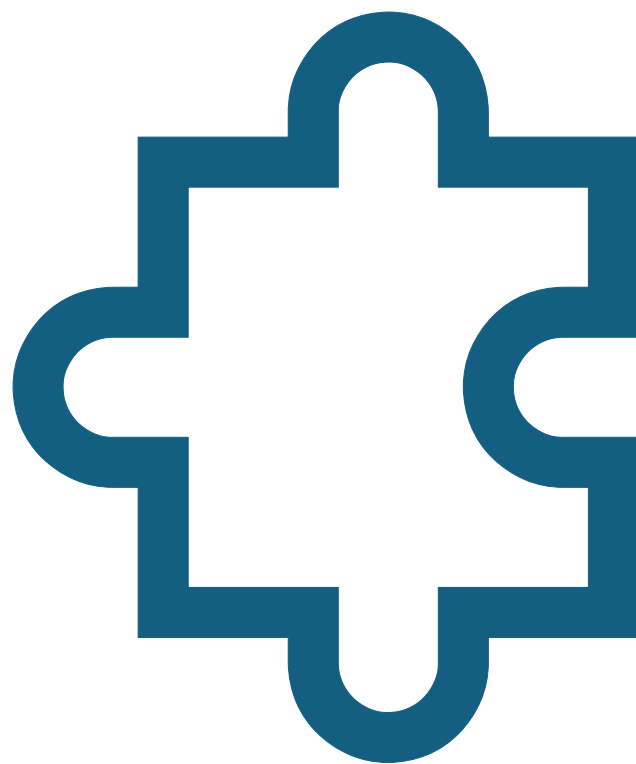
ご清聴ありがとうございました！



放課後等デイサービス オリオン

妹尾 拓真

 まずはお気軽に、お住まいの市区町村の児童福祉窓口や、近くの相談支援事業所へご相談ください。



質疑応答・意見交換